

## 秋田県森林審議会 議事録要旨

【日 時】平成21年12月21日（月） 午後1時30分から2時30分

【場 所】秋田市 ルポールみずほ 3階「芙蓉」

【出席者】菊地委員、佐々木委員、佐藤（晶）委員、佐藤（公）委員、佐藤（重）委員、  
佐藤（眞）委員、高橋委員、中田委員、古久保委員  
（事務局）佐藤農林水産部長、猪島森林技監、近藤次長、沓沢秋田スギ振興課長、  
池田水と緑の森づくり課長ほか関係職員

### 【審議会の概要】

#### 1 開 会

2 あいさつ 佐藤農林水産部長

#### 3 議 事

(1) 議案第1号「雄物川地域森林計画の樹立（案）」

(2) 議案第2号「米代川地域森林計画の変更（案）」

(3) 議案第3号「子吉川地域森林計画の変更（案）」

事務局より説明を行い、特に意見も無く、「適当と認める」旨を知事あてに答申することが決定された。

(4) 議案第4号「高度公益機能森林及び被害拡大防止森林の区域の変更（案）」

事務局より説明を行い、質疑の後「適当と認める」旨を知事あてに答申することが決定された。主な質疑、意見は次のとおり。

○ 松くい虫対策として作った防除帯の効果について。

→防除帯は、青森県境、三種町、仙北市田沢湖の3箇所にもツノマダラカミキリの飛翔距離等から2km幅設置しているが、周辺地域の重点的な防除も併せて実施し、今のところ青森県での被害は確認されておらず、一定の効果を上げている。

○ 松くい虫被害は減少傾向にあるということであるが、今後増加傾向に転じることはあるのか。

→被害が軽減した箇所で防除対策を止めたところ、再度被害が復活したという報告もある。

本県の被害対策で、薬剤散布が最も事業費が嵩んでいることから、通常の伐倒駆除レベルで済む被害量10,000㎡まで減少させたいと考えている。

また、防除対策と同時に、本県では登録されていないが抵抗性マツの選抜にも積極的に取り組んでいきたい。

#### 4 閉 会